各単元の内容に合わせて、利用できる資料を組み合わせて下さい

１．鉄かぶと（体験用）…町内会や会社などで用意していたものです。

２．防空頭巾（体験用）…綿入れになっており、頭部から肩まで覆うことができます。

３．国民服…昭和１５年に定められた軍服転用可能な男子用の服装。空襲が激化するにしたがって普及しました。

４．もんぺ…洋服や贅沢をいましめ、戦時中にふさわしい女性の服装として普及しました。

５．衣料切符…昭和１７年より衣料品配給の際、切符入れに描かれたそれぞれの点数の切符が必要となりました。岐阜市在住の場合、基本は１人１年で８０点でした。

６．足踏みミシン（体験用）

１．鉄かぶと
（体験用）

２．防空頭巾
（体験用）

３．国民服

４．もんぺ

５．衣料切符

６．足踏みミシン
（体験用）

１．岐阜空襲被災品…空襲による火災の熱でとけたガラス瓶など。戦後、岐阜駅西陸橋造成の際に瓦礫を埋め立て、近年その取壊しによって掘り出されました。

２．６ポンド油脂焼夷弾…岐阜空襲の際、投下されたものと同系。集束焼夷弾１発にこの６ポンド油脂焼夷弾４８本が入っており、空中で分解して地上に落下します。筒の中には粘着性のある油脂が詰められ、それが飛散して燃え上がりました。

３．「応召軍人」たすき…召集を受けた軍人が、家を出発する際に着用したものです。

４．雑嚢（ざつのう）…肩からかける布製のかばんで、軍隊の支給品です。

５．ゲートル…足のすねに巻く布で、筋肉をきつく締めることで足が軽くなり、重い軍靴をはいておこなう行進や、長距離の歩行が楽になりました。

６．水筒…アルミ製でコルクのせんがついています。

１．岐阜空襲被災品

２．６ポンド油脂焼夷弾

３．「応召軍人」たすき

４．雑嚢（ざつのう）

５．ゲートル

６．水筒

ゲートルの巻き方

a…ズボンのすそを折り込み、くるぶしの上から巻き始めます。

b…正面で折り返しながら巻きます。

c…ゲートルの端についているひもを結びます。